

# 第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」概要

## 「まち・ひと・しごと創生」とは

2008年に始まった日本の人口減少は今後さらに加速度的に進行することが予想されています。この人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保するために、国は平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を策定し、日本の人口の現状と将来の姿を示し、人口減少をめぐる問題を明らかにした上で、今後、目指すべき将来の方向性を提示するとともに、人口減少と地域経済縮小の克服などを基本的な考え方に据えた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。また、国は「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を令和元年12月に改訂するとともに、2020年度からの5か年の目標や施策の方向性を定めた第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の動きを更に加速させています。

## 「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

(令和2年1月22日 長和町企画財政課)

長和町でも急激な人口減少に直面する中、長和町の人口を分析した「長和町人口ビジョン」(平成27年12月)において浮き彫りになった課題や問題点を克服するため、町民の皆さまや関係各方面からの意見を結集し、平成27年12月に第1期の「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。町では、総合戦略に基づき様々な取り組みを進めてきましたが、第1期期間中の取り組みを総括し、第1期総合戦略との整合性や継続性に留意しつつも、様々な方々との意見交換や長和町地方創生推進協議会での検討等を通じ、取り組む事業を絞り込んで令和2年度から令和6年度を計画期間とする第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、将来にわたって輝き続けることができる「元気が出る町 長和町」を目指します。

### 人口ビジョン(平成27年12月策定)

#### 人口の現状と将来展望

長和町の総人口は減少傾向にあり、2000年から2010年までの10年間で1,000人を超える人口が減りました。自然増減(出生-死亡)は1992年を境に減少が増加を上回り、社会増減(転入-転出)も2001年から減少が増加を上回っています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2060年には人口の半数近くが高齢者となり、長和町の人口は2,647人まで減少することが予想されています。

長和町の人口の推移

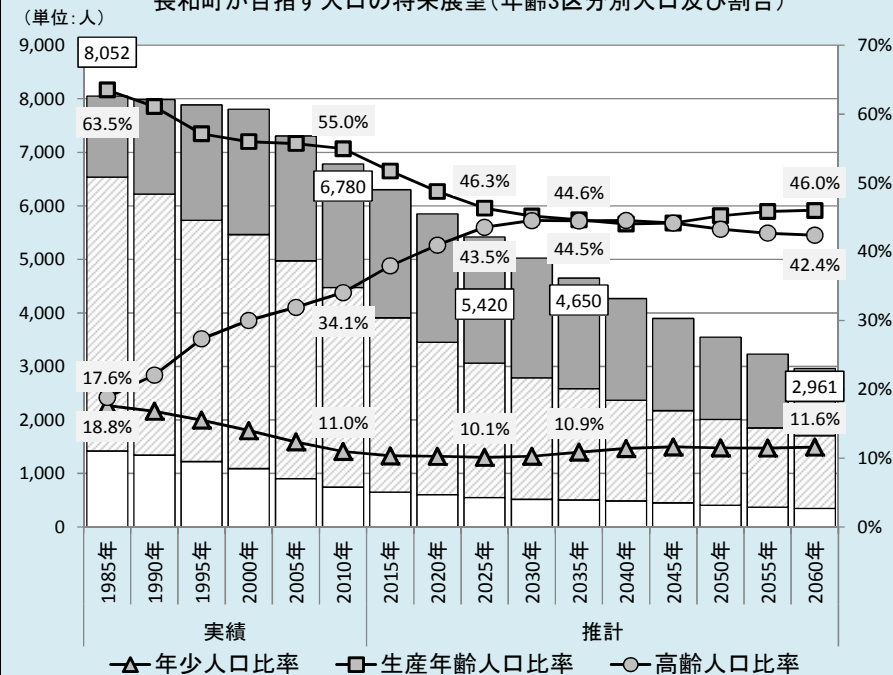
|       | 人口(人) |       |        |       | 構成比率(%) |         |       |
|-------|-------|-------|--------|-------|---------|---------|-------|
|       | 総人口   | 年少人口  | 生産年齢人口 | 高齢人口  | 年少人口比   | 生産年齢人口比 | 高齢人口比 |
| 1980年 | 8,185 | 1,441 | 5,410  | 1,334 | 17.6%   | 66.1%   | 16.3% |
| 1985年 | 8,052 | 1,420 | 5,115  | 1,517 | 17.6%   | 63.5%   | 18.8% |
| 1990年 | 7,984 | 1,343 | 4,878  | 1,763 | 16.8%   | 61.1%   | 22.1% |
| 1995年 | 7,886 | 1,225 | 4,505  | 2,156 | 15.5%   | 57.1%   | 27.3% |
| 2000年 | 7,807 | 1,093 | 4,371  | 2,343 | 14.0%   | 56.0%   | 30.0% |
| 2005年 | 7,304 | 903   | 4,070  | 2,331 | 12.4%   | 55.7%   | 31.9% |
| 2010年 | 6,780 | 744   | 3,727  | 2,309 | 11.0%   | 55.0%   | 34.1% |

(国勢調査人口)

長和町の人口に関する推計分析やアンケート調査結果及び目指す取り組みの方向性等を考慮し、長和町では以下の数値を目標とします。

出生率 1.55(2010年)→2.07(2035年) その後2060年まで2.07を維持  
人口 6,780人(2010年)→2,961人(2060年)

長和町が目指す人口の将来展望(年齢3区分別人口及び割合)



### 第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和2年1月策定)

#### 総合戦略の位置づけ

まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条第1項に規定する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」としての位置づけであり、人口減少問題をはじめとした様々な問題点を克服するため、国や県の総合戦略、第2次長和町長期総合計画を踏まえて、4つの基本目標を掲げ、長和町の実情に応じて必要な施策をとりまとめたものです。今後は町内外の関係機関等との連携を図りながら、基本目標に掲げた各施策に取り組むとともに、事業の効果を検証し、総合戦略を効果的かつ確実に実施していきます。また、必要に応じて総合戦略の改訂を行います。

#### 基本目標と数値目標

#### 基本的方向(概要)

#### 主な施策(概要)

【基本目標1】  
地域資源を活かした地域産業の振興で働いてみたくなる長和町をつくる

・就業率56%→維持(R6時点)

- 地域資源を活かした特産品の掘り起こし、地場産業振興・6次産業化推進による雇用創出・拡大
- 企業誘致による雇用創出
- 雇用創出や人材定着に関する企業への支援
- 次世代の農業を担う人材確保
- 商工業者の経営と雇用の安定化
- 企業情報の発信強化
- 起業支援体制の充実
- 森林整備の促進

- 地域資源に着目した特産品の掘り起こし、質の高い奨励品認定制度の創設、ワイン産業プロジェクトの展開によるワインを活用した地域振興、東京農業大学との連携
- 若い世代、移住者、町内在住者等の雇用確保のための企業誘致、良質な仕事の確保
- 雇用拡大や人材確保、人材の定着に取り組む企業への支援
- 新規就農里親制度等の活用による新規就農者の確保
- 商工業発展促進事業の継続・見直しによる体制の強化
- 関係機関と連携した企業情報発信の強化
- 伴走型によるきめ細かい創業支援、事業承継に関する支援策の検討
- 森林環境譲与税を活用した森林整備の促進による林業者への支援

【基本目標2】  
地域資源を活かした観光・交流文化の構築でひとの流れを呼び込む長和町をつくる

・社会移動 △13人→△10人(年間)  
・観光客数 588,500人→600,000人(年間)  
・外国人宿泊者数 312人→600人(年間)

- 地域資源を活かした観光振興のための町全体での観光プロモーションの検討
- 他自治体との広域連携による観光振興
- 訪日外国人旅行者の受け入れ体制整備
- 空き家バンクの充実、田舎暮らし体験住宅の活用による移住者の呼び込み
- 地域資源を活かした国際交流
- 長和町の知名度向上のための情報発信体制の強化

- 長和町にある様々な地域資源を活かした観光振興のため、町全体での観光プロモーションへの取り組み
- 共通の観光資源を持つ他自治体との連携による広域的な人の流れの創出
- 訪日外国人客に対応可能な人材の育成
- 空き家バンクの充実のための貸手と借り手の積極的なマッチング、「長和町田舎暮らし体験住宅」の利用をきっかけとした移住者の呼び込み、町内の空き家を活用した新たな価値の創出
- 英国セットフォード町との地域間交流の継続による人の流れの活性化、国際交流を通じた地域の未来を支える人材の育成
- これまでの情報発信体制の見直し、時代に即した情報発信の方策の検討、女子美術大学との連携

【基本目標3】  
地域資源を活かし、結婚・妊娠・出産・育児・子育てを切れ目なく支援する環境を整え、子育てしやすくなる長和町をつくる

・出生数 24人→維持(年間)  
・合計特殊出生率 1.69(R6時点)

- 結婚支援事業の充実
- 妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する体制の充実
- 子育てに関する環境や支援の充実
- 子どもたちの学力向上
- 放課後児童受入れ体制の充実
- 様々な家族のかたちに合わせて子育て環境・支援体制整備のための施策検討

- 婚活支援事業補助金を活用した結婚支援体制の充実、上田地域定住自立圏を構成する自治体等と連携した取り組みの検討
- 子育てに関する相談しやすい環境の整備、子育てに関する情報発信方法の見直し
- 子育て世代の経済的な負担の軽減(子育て応援給付金、高校通学費補助、給食費無償化、保育園副食費無償化等の継続)による子育て世代への積極的な支援
- ICT教育等時代に即した施策や補完的な学習の場の検討による質の高い教育の実現
- 従来の児童館に加えた、放課後児童受入れ体制の検討

【基本目標4】  
地域資源を活かした安全・安心な環境の確保で、暮らし続けたい長和町をつくる

・まちづくりに資する拠点の整備箇所数 1か所(R6時点)

- 協働のまちづくりの推進
- 安全で安心なまちづくり
- 時代に対応した公共交通網の構築推進
- 誰もが健康でいきいきと生活できるまち(健康長寿のまち)づくり
- 地域の医療体制の維持
- 安心な暮らしを守るための空き家対策の推進
- 道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上
- 時代に合った別荘地づくり
- コミュニティ施設の整備による地域共生社会の実現とSDGsの実践

- 住民自治基本条例に関する町民の理解を深めるための講演会等の実施
- 町内各地区における自主防災組織の設立による災害に強いまちづくり
- 公共交通審議会の結果を踏まえた新公共交通体制による運行の開始、観光客の利便性向上
- 各年代の課題に沿った健康増進事業の展開、支え合いサポート事業の充実、地域住民主体の通いの場の創出
- 国保依田産病院の運営支援、病院専門職の活動を通じた地域と病院のつながり強化
- 危険家屋への適切な対応
- 道の駅マルメロの駅ながと内の大型農畜産物直売所の活用による地域産業の活性化・都市農村交流の活性化・買い物の利便性向上、和田宿ステーションの魅力向上
- 別荘マスタープランの策定による時代に合った別荘地運営
- 地域共生社会の実現とSDGs(「持続可能な開発目標」)の実践のためのコミュニティ施設整備(コミュニティカフェの運営による障がい者の雇用創出や多様な働き方の支援等の事業を実施)